

「実践記録、教材・教具の部」 入選作品一覧 (中学校)

No.	作品名	教科・領域等	学校名	応募者名	作品	講評
1	「配膳台カバーを作ろう」作業表・振り返しシート	特別支援教育	恵那市立 恵那西中学校	二林 佳奈子		生徒が自分で見て作れるような作業表になっており、わかりやすい資料である。一つ一つの作業が細かく書いてあることやページ一つ一つの作業であることで、確認もしやすいところが素晴らしい。
2	株式売買シミュレーション-100万円は増えた？-	社会科	瑞浪市立 瑞浪南中学校	河田 佳則		主体的な学習を生み出す公民的分野における経済の単元の教材である。学習の目的が明確であり、株を買うシミュレーションを通して本質的な内容を理解していくに当たり、本集計シートを活用することで複雑な計算を省略できる。
3	交流とまとめの場面における視覚化を目指したスプレッドシート	数学	中津川市立 第二中学校	岡安 航太郎		本シートを活用することで、生徒が個々で自分の学びの変容を実感することができ、また、交流前の自分の立場を明確にすることができ、考え(視点)の同じまたは違う交流相手を自ら選択して交流することができる。
4	マイクロスケール酸アルカリの性質を手元で確認	理科	恵那市立 恵那西中学校	杉田 洸平		シートがあることにより、既存のマイクロプレートよりも性質が視覚的にとらえやすいことから生徒が容易に比較し、思考を深めることができる。材料費が安価であり、どの学校でも作成しやすく汎用性がある。
5	マイクロビットを使ったデシベル計	技術・家庭 (技術分野)	土岐市立 泉中学校	林 祥太		題材の導入に活用することで、生徒の興味・関心を引き付けるとともに、音の大きさを視覚的に確認することができるものとなっている。また、声の大きさを計測するのに学級で実際に活用することで、生徒がプログラミングを身近に感じることができるアイデアが素晴らしい。
6	布(繊維)の種類	技術・家庭 (家庭分野)	土岐市立 泉中学校	毛利 知美		様々な布(繊維)を収集し、実際に生徒が触れたり実験を通して観察することで、その特徴について、風通し、手触り、見た目、保温等多面的多角的に見方考え方を働かせることができる教材となっている。掲示をしておくだけでなく、それを題材を通して授業で活用することができるところがよい。
7	はんだ付け確認ゲージ	技術・家庭 (技術分野)	恵那市立 恵那東中学校	山田 拓弥		はんだの量や形状の確かさを生徒が同じ基準で自己評価できる素晴らしい教材である。先端にくぼみが意図的に製作しており、実際に付けたはんだに当てて、状態を確かめることができるようになっている。生徒が自分の学びを自己調整し、「できる」自分になったことを瞬時に自覚できるようになっている。